

令和8年度 KOUTOKU コミュニティ・スクール（学校運営協議会）通信①

令和8年4月21日 発行 教務部

4月16日（木）に、委員6名、教職員10名が参加し、令和8年度学校運営協議会（CS）の1回目の会議を実施しました。今年も学校グランドデザインに掲げた「楽しい学校」＝「^{がっこう}楽校をつくる」をテーマに、学校の様々な課題について話し合っていきます。第1回目の会議では、今年度の学校経営計画の説明と委員による承認の後、「教職員に余白の時間をつくる」をテーマに熟議をしました。教職員に余白の時間をつくることは、生徒と向き合う時間や授業研究の時間を確保し、ひいては、学校全体の教育力の向上につながります。会議の最後には、塚本副委員長から「話し合って終わりではなく、できるところから実際に取り組んでいきましょう」という提案がありました。



学校運営協議会の開会



新しい委員さんも加わりました



石井 CS 委員長のあいさつ



CS への熱い思いを語る校長



フードデザインコースからのサービス



3グループに分かれて熟議。委員のファシリテートのもと、積極的に意見を交わす CS 委員と教職員。

【熟議の内容】

(第1G)

- 学校近隣で実習ができる事業所を見つけてほしい。
 - ・常澄の商工会を訪ねてみる。
 - ・荒井委員（水戸地区障害者就業・生活支援センター所長）から地域福祉課につないでもらう。
 - ・常澄中学校とつながる。
- 部活動指導ができる指導者を見つけてほしい。
 - ・教職員を退職された方、シルバー人材センター、ボランティアサークル等
 - ・大学生 大学の掲示板にボランティアの張り紙がある。金丸委員（茨城大学教授）より大学に伝えてもらう。



(第2G)

- 登下校の見守りをお願いしたい。
 - ・下大野市民センターに相談する。
 - ・謝礼が必要では。
 - ・寄宿舎生が生徒を見守る。
- 校内に飲料、菓子などの無人販売がほしい。
 - ・自販機の補充や管理を生徒に。
 - ・野口委員（カスミみらい代表取締役）から、カスミの Office Smart Shop や Scan&Go を紹介。
 - ・移動スーパーに来てもらう。
 - ・寄宿舎の生活を豊かにする視点で。



(第3G)

- 敷地内、畑の除草をお願いしたい。
 - ・近隣の農家とのつながりをつくる。
 - ・学校が何をしてほしいのかという情報発信。
 - ・win-win になれるような関係。野菜の提供、洗車チケットの配布など。
 - ・保護者にも呼び掛ける。
- 寄宿舎における趣味の講座講師をお願いしたい。
 - ・公民館の講座に参加する。
 - ・オンラインで実施できないか。
 - ・まずはきっかけづくりが大切。



【まとめ】

- ・地域コーディネーター的な役割が必要。
- ・放課後に地域の人を集めてお茶会をしてはどうか。そこでコースの製作物などのおみやげをもらったら、学校や生徒のために何かしたいという気持ちになるのでは。
- ・大学生と寄宿舎生がオンラインで会議をして「こんなことはできないか」というような話はできないか。